

**第30回埼玉県U-18女子サッカー選手権大会
(兼) 第30回関東女子ユース(U-18)サッカー選手権大会埼玉県予選
実施要項**

1. 主 旨 埼玉県における女子サッカーの技術の向上と健全な心の育成を図り、広く女子サッカーの普及振興に寄与すること、そしてクラブチームのさらなる増加、活動の活性化、及び第30回関東女子ユース(U-18)サッカー選手権大会に出場するチームを決定することを目的とする。
2. 名 称 第30回埼玉県U-18女子サッカー選手権大会
(兼) 第30回関東女子ユース(U-18)サッカー選手権大会埼玉県予選
3. 主 催 公益財団法人 埼玉県サッカー協会
4. 主 管 埼玉県女子サッカー連盟・一般部会・U-18 部会
5. 協 賛 (株)モルテン
6. 日 時 2026年6月2日(火)～2026年8月9日(日)
7. 会 場 当該チームにより決定
8. 参加資格 (1)公益財団法人日本サッカー協会に「女子」の種別で登録した加盟チームであること。
埼玉県高等学校体育連盟加盟チームを除く。
(2)2008年(平成20年)4月2日から2014年(平成26年4月1日)までに生まれた女子選手であり、大会申込日2025年6月13日(金)までに選手登録されていること。
但し、都県高等学校体育連盟加盟選手を除く。(一部例外 対応あり。下記(5)参照。)また中学生以下の選手だけの大会参加は不可とする。
また、高校生の選手登録は5名以上を必須とする。
(3)クラブ申請制度の適用：公益財団法人日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一「クラブ」内のチームであれば移籍手続きを行うことなく上記(1)のチームで参加させることができる。この場合、同一「クラブ」内のチームであれば、複数のチームから選手を参加させることも可能とする。
なお、選手は上記(2)を満たしていること。選手が所属するチームの種別・種別区分は問わない。
(4)外国籍選手：5名まで登録でき、1試合3名まで出場できる。
(5)上記(2)～(3)を用いても1チームが11名に満たない場合に限り、参加申込合計18名になるまで、同一チーム内の都県高等学校体育連盟選手も参加申込みすることが出来る。
※同年度の全日本高等学校女子サッカー選手権大会(予選含む)に参加申込みした選手を除く。
9. 参加チームおよびその数
三菱重工浦和レッズレディースユース、RB大宮アルディージャWOMENU18
ちふれASエルフェン埼玉マリU-18
10. 競技方法 リーグ戦方式により1位～3位を決定する。
11. 競技会規定 25/26年度の公益財団法人日本サッカー協会競技規則による。但し、以下の項目については本大会規定を定める。
(1)プレーの時間80分(前・後半40分)

- (2) ハーフタイムのインターバル 原則として 10 分（前半終了から後半開始まで）
- (3) 試合の勝者を決する方法：80分で決しない場合は引分けとする。
- (4) 各試合の登録選手数：20 名まで（参加申込選手最大30名のうち）
- (5) 交代できる数：5 名以内（一度退いた選手は再度出場できない）
- (6) 交代要員の数：9 名以内
- (7) ベンチ入りスタッフの数：6 名以内
- (8) テクニカルエリア：設置する。
戦術的指示はテクニカルエリア内から起立のうえ、ただ1人の役員が伝えることができる。
- (9) ベンチに入ることができる人数：15 名（交代要員 9 名、役員 6 名）
- (10) 第4の審判員：任命する。
- (11) アディショナルタイムの表示：実施する。
- (12) 負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために入場を許される役員の数：2 名以内
- (13) 本大会期間中、異なる試合で警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
- (14) 本大会において退場を命じられた選手は次の1試合に出場できず、それ以降の処置について
本大会の規律フェアプレー委員会で決定する。
- (15) 装身具：一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする。
- (16) 試合球：大会試合球は5号日本協会検定球とする。
- (17) 脳震盪による交代について：採用する
但し、会場ドクターが設置されず正確な判断が出来ない時は両チームの監督が了承した場合に
のみ、交代を認めることとする（交代できる数の5名以内に含めない交代とする）。ただし、
人数は1人に限るものとする。
- (18) チームが「脳震盪による交代」を行った場合、相手チームは1人の「追加の交代要員」を使うこ
とができる。

12. 参加申込 参加申込み得る人員は、各チーム役員6名・選手30名を最大とする。ポジションについては、
GK,DF,MF,FWと記入する。
参加チームは、所定の選手登録票（データ形式）に必須事項を入力の上、大会事務局にメールにて
申し込むこと。
- (1) 申し込み締め切り：2026年5月25日（月）必着
 - (2) 締め切り後の選手登録票内容の変更は認めない（スタッフについては当日のメンバー表で対応可）。

13. 参加料 無料

14. ユニフォーム：大会実施年度の公益財団法人日本サッカー協会「ユニフォーム規定」による。
以下の項目については特に本大会用として規定を定める。
- (1) ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）については、正の他に副として、正と色彩（濃
淡）が異なり判別しやすいユニフォーム色彩を参加申込書に記載し、各試合に必ず携行するこ
と（FP・GK）。
 - (2) シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
選手番号は参加申込書に登録した選手番号をシャツの前面、背面に付けること。ユニフォーム
のシャツが縞（縦縞も横縞も）の場合は、台地（白布地等）（縦30cm×横30cm位）に
背番号を付け、判りやすくする事。
 - (3) ユニフォームの色彩、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。
 - (4) ユニフォームへの広告表示については本協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合の
みこれを認める。尚、会場によって広告掲出料が発生する場合は、チーム負担とする。日本女
子サブロッカーリーグチームについてはリーグ事務局を通して公益財団法人日本サッカー協
会の承認を得たものに限る。

- (5)ユニフォームに他のチーム（各国代表・プロクラブチーム等）のエンブレム等が付いているものは着用できない。

15. キャプテンアームバンド（チームが用意）

チームキャプテンは、JFAにより認められたアームバンドを着用しなければならない。

16. 表彰 (1)優勝と準優勝に表彰状を授与する。

(2)表彰式は行わない。

なお、本大会上位2チームは、第30回関東女子ユース(U-18)サッカー選手権大会への出場資格を得る。

17. 傷害補償 試合会場では応急処置のみ主催者の責任とし、チームの責任で障害保険に加入していること。

18. 組合せ抽選 行わない。

19. その他

- (1)選手証：各試合の登録選手は、(公財)日本サッカー協会の発行した電子選手証をカラーコピーしたもの（写真付）または画面上で表示したもののいずれかを試合会場にて提示すること。
提示できない選手は当該試合への出場は認めない。
- (2)本大会実施委員会内に規律・フェアプレー委員会を組織し、委員長は実施委員長が兼任する。
規律・フェアプレー委員会の委員人選は委員長に一任する。
- (3)メンバー用紙提出：試合開始70分前までに所定の場所に出場選手の登録選手証と共に提出する。
*ユニフォームカラーはMCM後記入、監督署名のこと
- (4)メンバー用紙提出後からキックオフまでの間における選手変更は、ウォーミングアップ・練習中の負傷または急病等、やむを得ない事情があり、かつ主審の承諾を得た場合に限り認める。先発選手の場合、控え選手を先発選手に変更し、新たな選手を控え選手として補充することができる。当該先発予定選手を控え選手に変更することは出来ないが、GKについては例外として認める。また、控え選手の場合、新たな選手を補充することができる。ただし、補充する選手は出場チームが参加申し込みをした30名の中からとする。
- (5)各試合競技開始時間の70分前にマッチコーディネーションミーティング（MCM）を開催する。
MCMに於いて、両チームのユニフォームの決定（チームはユニフォーム正副一式を持参すること）、諸注意事項の説明を行う。
- (6)大会規定に違反し、その他不都合な行為のあった時は、そのチームの出場を停止する。
- (7)大会要項に規定されていない事項については本大会実施委員会において協議の上決定する。
- (8)審判員：主審、副審、第4の審判員は全て派遣とする。
- (9)記録については、役員で行う。
- (10)参加チームは大会期間中を通して1名以上の大会本部役員を派遣すること。大会運営はその役員で行う。
- (11)上記に記載のない事項については、競技規則に沿って行なう。
- (12)優勝または2位のチームが関東大会に出場できなくなった場合は、3位チームが関東大会に出場。

20. 大会事務局 埼玉県女子サッカー連盟U-18 部会 事務局 神戸 慎太郎
〒338-0825 さいたま市桜区下大久保1771
携帯 090-6016-4800 / メール s.kanbe@urawa-reds.co.jp

21. 大会実施役員

委員長 女子サッカー連盟理事長 森田 貴美子

副委員長 一般部会部会長 藤田 正之

実施役員 藤田 正之 美馬 智子 ほかに参加各チームより1名

22. フェアプレー・規律委員会

委員長 女子サッカー連盟理事長 森田 貴美子

副委員長 一般部会部会長 藤田 正之

審判委員 佐藤 ゆみ、小野寺 秀夫

委員 川本 竜史、美馬 智子